

経営比較分析表（令和4年度決算）

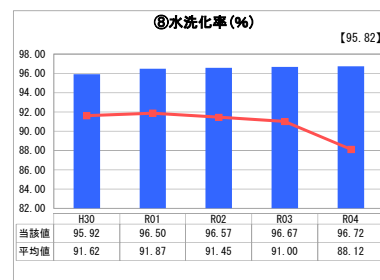
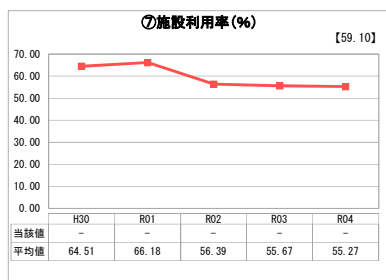
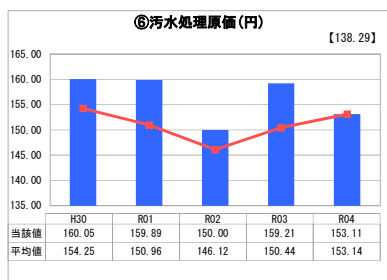
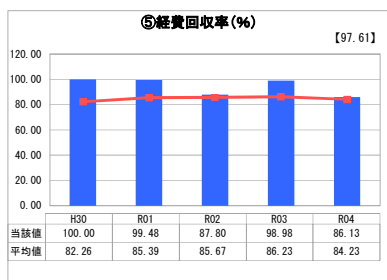
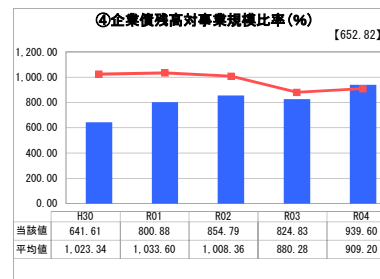
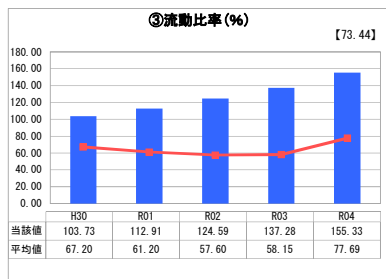
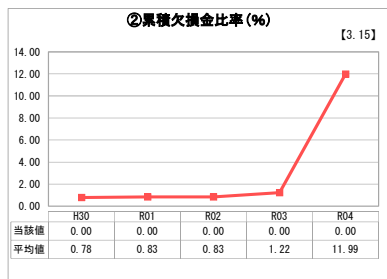
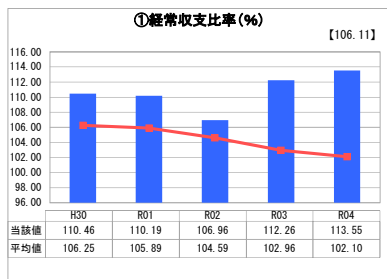
福岡県 志免町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	49.62	100.00	96.20	2,662

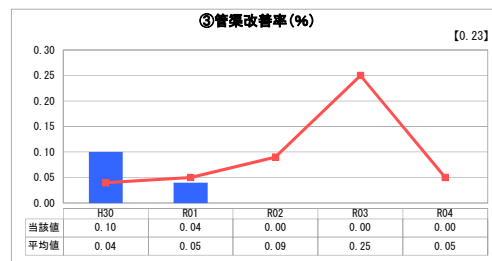
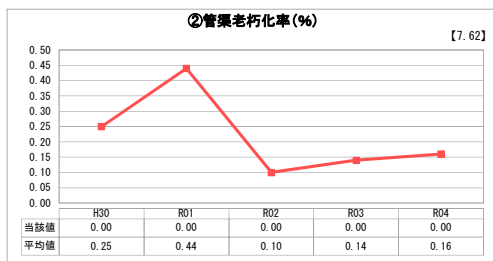
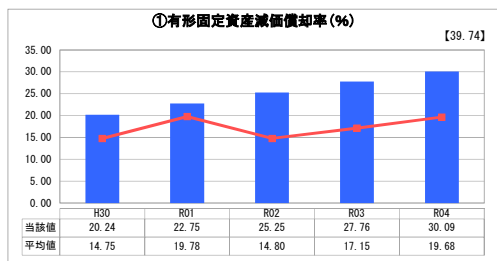
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,560	8.69	5,357.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
46,543	8.07	5,767.41

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

志免町の下水道事業経営においては、毎年純利益が発生しているため、健全な経営状況である。

- ① 経常収支比率は、当期の経営活動による収入で費用を賄えているかの指標で、黒字であることを示す100%超えが続いており、健全な状態である。
- ② 累積欠損金は無い。
- ③ 流動比率は、短期的な支払い能力を表す指標で、年々上昇しており、類似団体と比較して極めて高い水準である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、営業収益に対する企業債残高の割合で、今年コロナ減免を行ったことで前年（コロナ減免なし）からは増加し、数値が悪化したが無ければ類似団体より良好な値である。
- ⑤ 経費回収率は、経費を使用料収入でどの程度賄えているかを表す指標で、目標となる100%を下回っているが、コロナ減免が無ければ100%を上回るようになるので実質的には賄えていると考えられる。
- ⑥ 汚水処理原価は、有収水量1m³当たりの汚水処理に要した費用で、前年からは大きく減少し、類似団体と比較して下回ることが出来たが、今後も引き続き費用削減に努める。

⑦ 施設利用率は、処理区域人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理をしている人口の割合を表した指標で、類似団体を大きく上回っているが、適切な汚水処理を実施するため、引き続き水洗化人口の増加に努める。

2. 老朽化の状況について

志免町の下水道管は、必要に応じた更新に努めるとともに、工事費を毎年度平準化して整備を行っているため、著しい管路の老朽化や早急に検討すべき課題はみられない。

- ① 有形固定資産減価償却率は、減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、近年は増加傾向が続いており、類似団体計画より高くなっているが、ストックマネジメント計画に基づき、適切な維持管理や更新に努める。
- ② 管渠老朽化率は、法定耐用年数（50年）を超えた管渠延長の割合で、耐用年数を超えたものはない。
- ③ 管渠改善率は、当該年度に更新した管渠延長の割合で、更新した管渠はない。

全体総括

今年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる経済支援として、下水道使用料2か月分の減免を実施したため、「⑤経費回収率」が大きく減少しましたが、「①「経常収支比率」②「累積欠損金」③「流動比率」の数値から見ると現在のところ健全な経営状況と考えられる。

ただ、今後は使用料収入の大幅な増額は見込めず、管路施設の更新費用が増加していくことが予測される。そのため、令和3年度に策定した経営戦略を基に、今後も経営の健全性維持及びさらなる効率化に努める。

* 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。